

長兵衛と權八

帝キネ時代映畫

原作者 勝本 静雄  
監督者 深川 ひさし  
撮影者 岡本 静夫

主要役割

幡隨院長兵衛 尾上 紋十郎  
平井權八 中村 小福

寫 眞 「長兵衛と權八」帝キネ 深川ひさし作品  
主演者の中村小福。



水野十郎左衛門 阪東 豊昇  
唐大權兵衛 中村 翫歌  
出つ尻清兵衛 市川 海老三郎  
近藤登之助 駒下 秀信  
池田勘兵衛 金時 金兵衛  
金時金兵衛 千代田 城上使  
高野左京 高野 左京  
秋部金吾 本庄 助七  
弟 助八  
下郎 兵助  
長兵衛女房 小 嵐 徳太  
小 嵐 徳太  
長兵衛 久野 あかね  
杉村 千恵子  
長兵衛 伴 長兵衛 伴  
解説— 深川ひさし氏の「安來小唄」に次ぐ監督作品である。  
略筋— 權八が捕吏の手から逃れては小紫の果敢ない逢瀬を樂しんである頃、白柄組と町奴の睨み合ひは益々激しく一日水野は饜飜と稱して招き討たんと計つた。長兵衛は女房お蝶と稱し長松、唐大權兵衛等を後に死を覚悟して單身乗り込んだ。これを知つた權八は小紫に別れを告げ彼女の自及に涙流しつつ長兵衛の助太刀せん

水野の邸へ馳せつけた。卑怯な水野の刃を相手に奮闘した長兵衛は遂に水野の突き出す槍先を我が胸に刺し通し天晴な最後を遂げた。お蝶はじめ乾分達は長兵衛の仇を報せんとして水野邸へ乗り込みながら修羅場を巻き化した。折しも千代田城より上使あり水野は極りなき横暴の咎によつて切腹仰せつけられた。權八は最早やこの世に望みなく遂に縛に就いた。